



## 1 | 27 2つの「鍋」で黒山の人ばかり 第22回しんとつかわ雪まつり

ふるさとまつり実行委員会（菅木正文実行委員長）が改善センター前でしんとつかわ雪まつりを開催し、4500人の来場者でにぎわいました。10種類の鍋料理が味わえる冬鍋大会では、キムチ鍋や雑煮鍋、モツ鍋など、出店者自慢の鍋、来場者は行列を作って目当ての鍋を買い求めています。

また、特大サイズの中華鍋に乗り、バランスを取りながら相手を押し倒す国際中華鍋押相撲選手権も白熱。一般女子の部で2連覇を達成した西永育未さん（滝川市）は「賞金で家族にご馳走したいです。勝利の秘訣はやっぱりバランスですね」と話していました。

## 1 | 6 我ら、地域防災の要とならん 新春恒例、消防出初式

役場前で消防出初式が開かれ、消防団員86人、婦人防火クラブ会員14人、消防職員11人が参加しました。

時折粉雪が舞い散る中、参加者は指揮官の号令に合わせてキビキビと行動し、今年1年、地域防災の要（かみなめ）として職務にあたることを誓いました。

出初式後には、会場をゆめりあに移して表彰式が行われ、長年にわたり消防活動にあたってのべ44人の団員と職員が表彰を受けました。

（表彰内容は12ページ）





## 1 | 14 かるた大会で熱戦 実力伯仲の好勝負

第35回全町子ども会かるた大会が、改善センターで開催され、日ごろ練習を重ねた小中学生152人、45チームが出場しました。

大会は、小学校低学年、同高学年、中学生の各部門でのトーナメント戦で行われ、白熱した優勝争いを展開していました。

子どもたちは、対戦中は真剣なまなざしで読み手の声に集中し木札をはじめていましたが、終了すると笑顔や悔しさをにじませるなど、充実した表情を見せていました。

(結果は12ページ)

## 1 | 24, 25 給食の安全と味、試食で実感

学校給食センターで第1回学校給食試食会が開かれ、両日で町民36人が参加しました。

はじめに、給食センターの職員が、給食に使用している野菜の27%、お米の100%が町内産であることや、センターの衛生管理状況について説明。つづいて、豚かやくご飯や切干し大根サラダなど、当日の給食と同じメニューを試食しました。

参加者は「こんなにおいしいなんて、子どもたちがうらやましい」などと話していました。



## 1 | 17 迎春の喜び分かち合う

町老人クラブ連合会(寺田隆政会長)が、改善センターで新年交礼会を開き、会員ら191人が出席して巳年のスタートを祝いました。

寺田会長は「昭和38年に老人福祉法が制定されて50年の節目を迎えました。しかし、半世紀を経て、人々の結びつきは希薄になる傾向にあり、会員数の減少も大きくなっています。先人の志を伝承していくために、時代の流れに目を向けて新たな一歩を踏み出す年としたいと思います」とあいさつをしました。

